

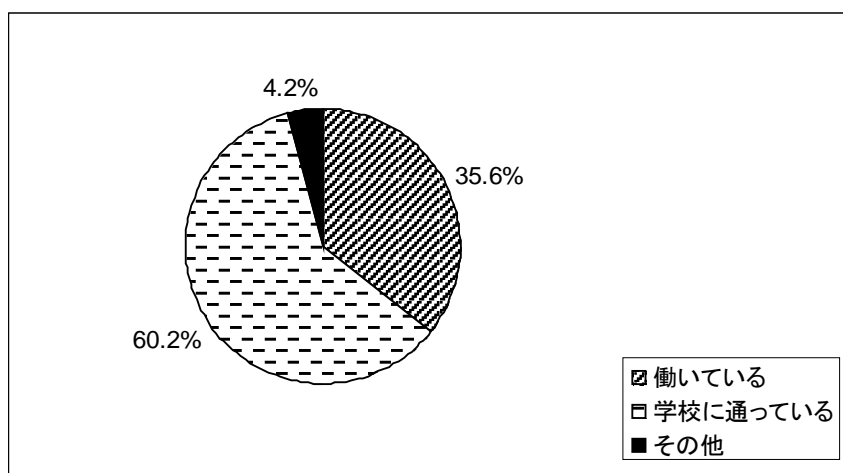
「高校卒業後の生活と意識に関するアンケート調査」にご協力いただいたみなさまへ

一昨年の秋には、第3回「高校卒業後の生活と意識に関するアンケート調査」にご協力いただき、ありがとうございました。昨年夏（2007年）に「高卒者調査速報版 第4号」としてお届けしたとおり、おかげさまで、548名の卒業生のみなさんから回答をいただくことができました。今年の第4回調査実施に際し、「高卒者調査速報版 第4号」より一部抜粋しつつ、新たに速報版を作成しました。皆さまの実感により近づいたデータにするためにも、今回の調査に是非、ご回答ください。

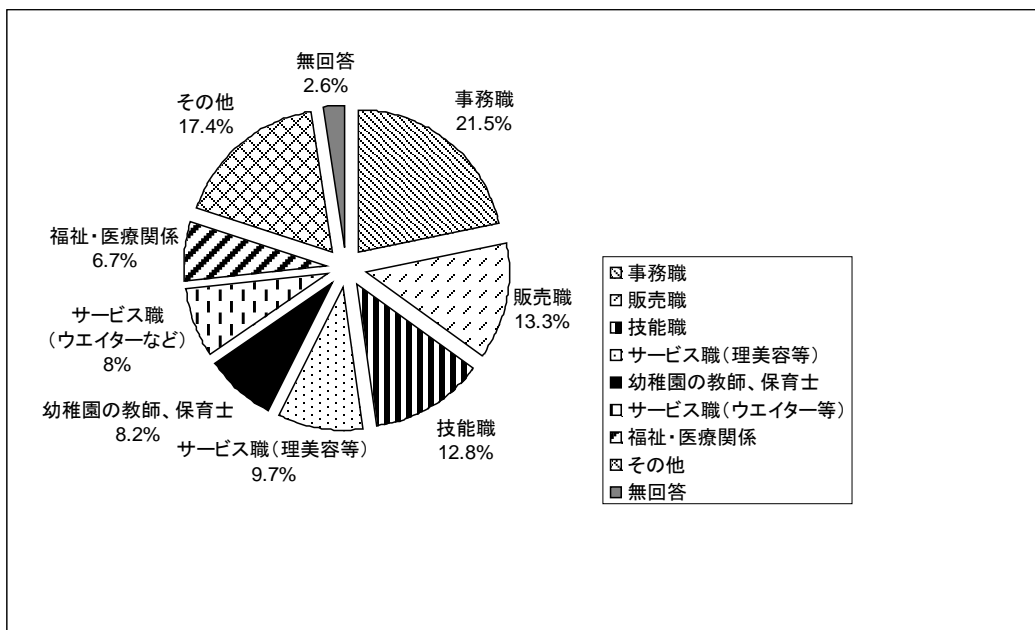
1. 回答者のプロフィール

①2006年10月の進路状況

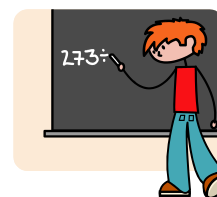
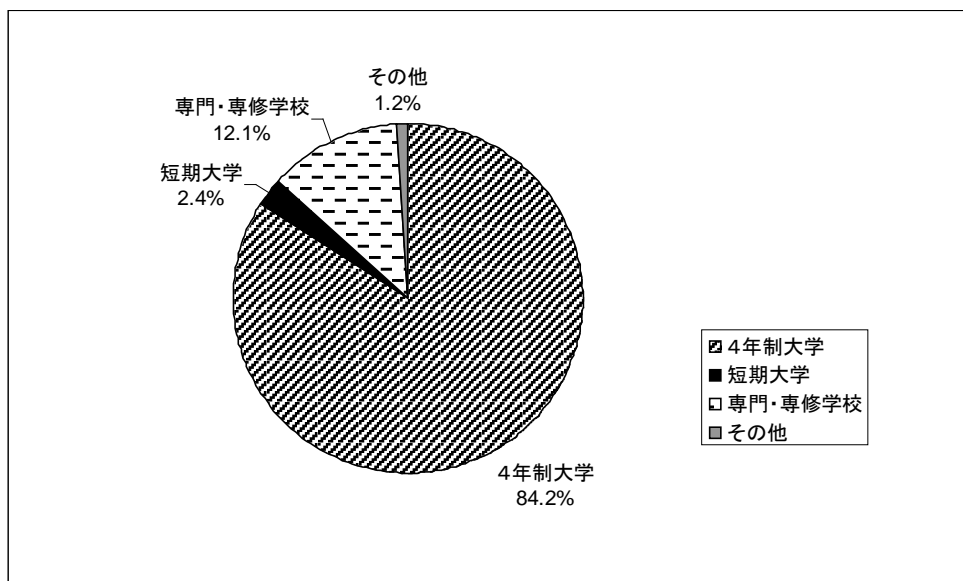
回答者 548名（働いている方 195名 学校に通っている方 330名 その他の方 23名）



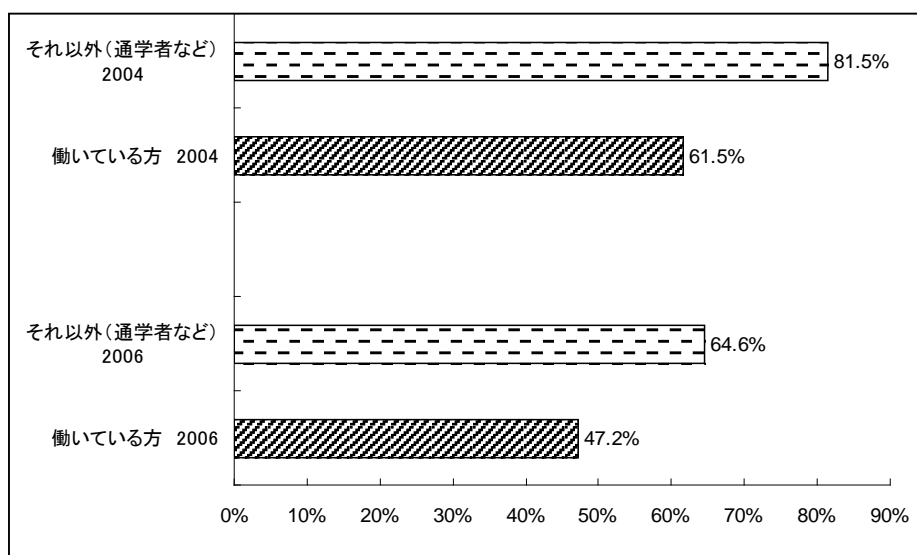
②2006年10月時点の職種（働いている方195名について）



③2006年10月時点の進学先（学校に通っている方330名について）



④選択した進路の満足度（2004年10月との比較）



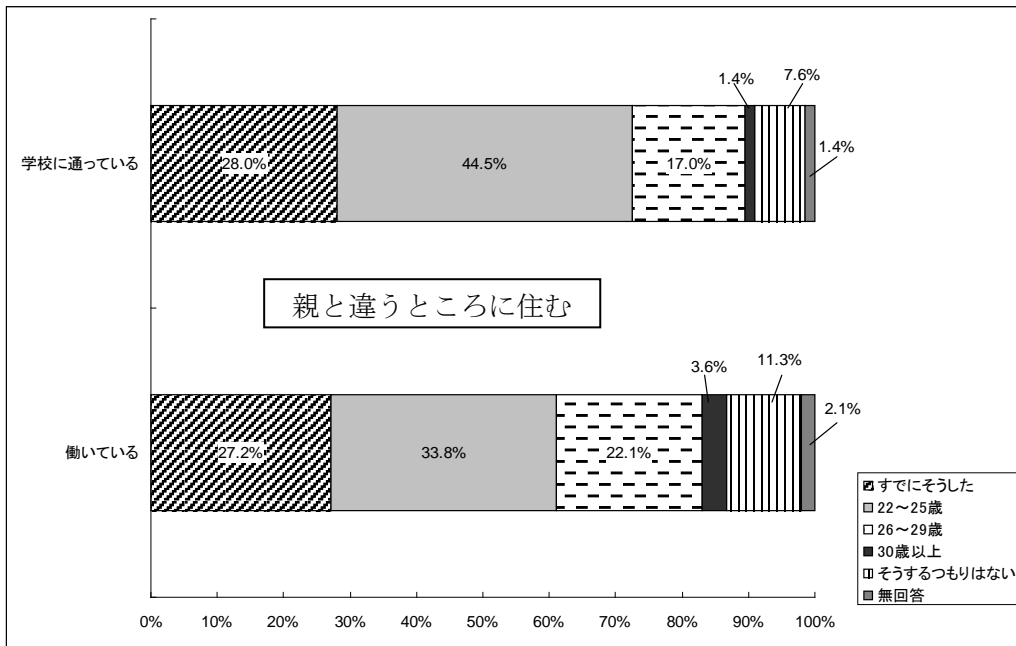
「これまでの進路を振り返って、現在どのように考えていますか」という質問に対して「今の進路でよかった」と回答した割合は、働いている方47.2%、それ以外（学校に通っている方およびその他の方）は64.6%でした。それ以外の方の満足度が高い傾向は高卒後半年の調査時点（2004年10月）と同様ですが、2004年調査の回答結果よりも、いずれの進路状況においても、「満足している」と回答する割合が低くなっています。

2. 自立していくために

⑤将来展望～「親と違うところに住む」

将来の生活について、4つのライフイベントを（「アルバイトではない仕事をする」「親と違うところに住む」「結婚する」「最初の子どもを持つ」）を設定して、それぞれの予定を年齢段階でうかがいました。昨年の速報版では「結婚」の予定年齢について回答結果をお伝えしましたが、今回の速報版では、「親と違うところに住む」（離家）の予定年齢について、進路状況別に示しました（ただし、学校に通っている方に、「その他」の進

路の方を含めています)。進路状況によって、特に 22 歳から 25 歳の人生設計についての意識が大きく異なるようです。なお、日本社会では、こうした「離家」をめぐる意識が若者も含め、社会的に薄いということが言われています。



⑥30 歳ごろになったときの働き方～高校 3 年生からの意識の変化

※ここでは、「働いている方」及び「学校に通っている方」のみの結果を示しました。

	2006年(高卒3年目)						(人数)
	正社員として働きたい	自分で事業を起きたい	独立して一人で仕事をしたい	アルバイトやパートで働きたい	専業主婦・主夫になりたい	わからない	
2003年(高校3年生)							
正社員として働きたい	60.4	0.9	1.8	8.1	13.5	8.1	(111)
自分で事業を起きたい	29.4	17.6	17.6	11.8	11.8	5.9	(17)
独立して一人で仕事をしたい	52.6	10.5	10.5	5.3	10.5	0.0	(19)
アルバイトやパートで働きたい	25.0	0.0	0.0	37.5	37.5	0.0	(8)
専業主婦・主夫になりたい	7.7	0.0	15.4	15.4	61.5	0.0	(13)
わからない	40.0	10.0	30.0	10.0	0.0	10.0	(10)

※主な選択肢のみを表記しているため100%にはならない

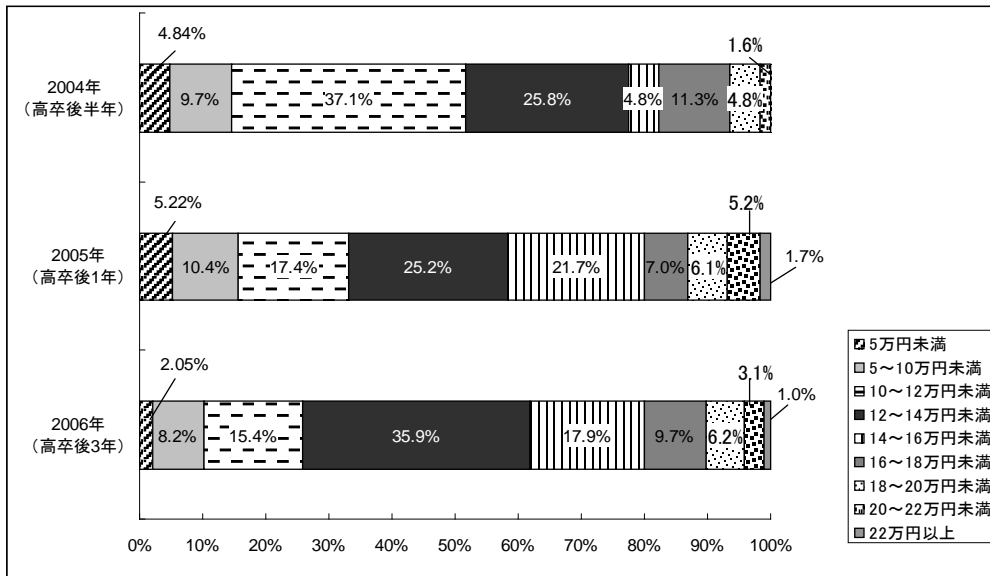
	2006年(高卒3年目)						(人数)
	正社員として働きたい	自分で事業を起きたい	独立して一人で仕事をしたい	アルバイトやパートで働きたい	専業主婦・主夫になりたい	わからない	
2003年(高校3年生)							
正社員として働きたい	88.4	2.9	1.9	0.0	5.3	0.5	(207)
自分で事業を起きたい	50.0	23.3	16.7	0.0	3.3	3.3	(30)
独立して一人で仕事をしたい	73.3	6.7	20.0	0.0	0.0	0.0	(30)
アルバイトやパートで働きたい	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	(2)
専業主婦・主夫になりたい	25.0	0.0	0.0	5.0	70.0	0.0	(20)
わからない	70.0	5.0	10.0	0.0	5.0	10.0	(20)

※主な選択肢のみを表記しているため100%にはならない

調査では、初回の 2003 年度（高校 3 年生）時点から継続的に「30 歳ごろにどのような働き方をしていたいか」をたずねています。いずれの進路状況にあっても、多くの方が「正社員」という働き方を望んでいるようです。また、今回の速報版では、高校 3 年生時点での回答別に、2006 年調査でどのように回答したのかを示しました。「正社員」「アルバイト・パート」「専業主婦・主夫」を高校 3 年生時点で選択していた方は 3 年後の調査でもその多くが同じ項目を選択しています。他方、「自分で事業」「独立」「わからない」を選択していた方は 3 年後の回答では最も多く「正社員」を選択する傾向が明らかです。

⑦手取り収入

親元を離れ、本当の意味で自立していくためには、十分な経済水準が必須の要素です。住む地域によって、給与水準、住宅事情、物価が異なるため、一概には言えませんが、高卒後3年目で約6割の方が16万円未満に含まれているということは、一人暮らしをするには、決して楽に生活を送ることができる状況にはないと考えられます。



3. 4年前の私、そして、今の私～「女性の、家庭と仕事」に関する意識の変化

回答者が女性の場合は自分自身の希望を、男性の場合は配偶者になる人に対する希望をうかがいました。ここでは、男女を分けずに、全体の状況を示しています。「結婚して子どもができて」もしくは「結婚しても子どもをつくらず」に「仕事を続ける」と高校3年生時点で回答した方の半数前後は3年後の調査でも、とにかく「仕事を続ける」ことを選択しています。そして、その方々を除いた全体的な傾向としては、高校3年生時点でいずれの項目を選択していても、3年後に最も多く回答が集中したのは「子どもができたらいったん仕事をやめ、子どもに手がかからなくなったら仕事を始める」といういわゆる「中断再就職」タイプでした。

	2006年(高卒後3年)										(人数)
	仕事をせず、結婚して家庭に入る	子どもができたらいったん仕事をやめ、子どもに手がかからなくなったらまた始める	子どもができたらいったん仕事をやめ、子どもに手がかからなくなったらまた始める	結婚して子どもができて仕事を続ける	結婚して子どもをつくらず、仕事を続ける	結婚しないで仕事を続ける	その他	わからない	無回答		
仕事をせず、結婚して家庭に入る	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(2)
結婚したら仕事をやめて、家庭に入る	28.6	0.0	9.5	33.3	9.5	0.0	0.0	9.5	9.5	0.0	(21)
子どもができたらいったん仕事をやめて、家庭に入る	2.4	7.1	16.7	38.1	11.9	2.4	2.4	4.8	11.9	2.4	(42)
子供ができたらいったんやめ手がかからなくなったらまた始める	1.9	0.9	6.5	58.9	23.4	0.0	0.9	2.8	4.2	0.5	(214)
結婚して子どもができて仕事を続ける	0.7	0.0	4.1	32.0	55.1	0.7	0.0	2.0	4.1	1.4	(147)
結婚しても子どもをつくらず、仕事を続ける	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	(10)
結婚しないで仕事を続ける	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0	21.4	7.1	14.3	0.0	(14)
その他	11.1	0.0	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0	33.3	11.1	0.0	(9)
わからない	1.6	6.6	9.8	34.4	18.0	0.0	4.9	8.2	16.4	0.0	(61)
無回答	0.0	0.0	0.0	71.4	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	(7)

※横の数値を合計すると100%になります。